



### 人間の感覚

特活課 茂松克明

現在では色々なものが機械化によって大量に安く生産されていますが、一つの物を突き詰めて作り上げるということに関してはまだまだ人間の感覚に及ばないものもあるようです。

かつて日本に世界一の砲丸職人と言われた人がいました。陸上競技の砲丸投げで使う砲丸のことです。砲丸は真球に近く重心が中心にあるほど飛距離が出るそうだが。材料には重さや重心のばらつきがあるため、通常の砲丸は後から穴を開け、鉛を詰めるなどして重さを調整していました。しかし、その人は重い硬い部分は多めに削り、軽い柔らかい部分は浅く削ることで重心の位置を真ん中に合わせることに成功しました。手のひらに伝わる感触、そして音と光（色）を頼りに1/100ミリの世界で調整するのです。その砲丸は、重心が安定しているため水平なところに置くと転がらないのだそうです。



現在では色々なものが機械化によって大量に安く生産されていますが、一つの物を突き詰めて作り上げるということに関してはまだまだ人間の感覚に及ばないものもあるようです。ある墨の職人に密着したTV番組で、その職人は「芸術家になるには才能が必要ですが、職人には誰でもなれます。ただし、長い年月が必要です。」ということをお話していました。近年「時間対効果」について見聞きすることがありますが、短い時間で高い効果を求めすぎると絶対に手に入らないものもあるのではないかと思います。

私は学生時代からテニスをしていたので関連する本を読むことがありましたが、その中でテニスラケットの角度とボールの飛距離の関係を測定した実験（機械でまっすぐにボールにあてる）がありました。その実験では、ラケットの角度が1°上を向くと落下地点が4m違ったそうです。しかし、テニスのトッププロであれば少なくとも数10cmの単位で調整ができると思います。実際にはラケットの角度だけではなく、スイングスピードや回転数の増減など様々な要素がありますが、感覚によって調整することができます。テニスに限らず、様々なスポーツ選手が我々には考えられないような技術を見せてくれます。当然その人たちがたくさんの練習を積んできた上で身についた感覚や技術だと思っています。

様々な職人やスポーツ選手は時間をかけて感覚を磨いてきたのだと思いますが、その長い修練や研究によって、一人の人間が高価な機械やセンサーに負けない感覚を持っているのだと思うと人間とはすごいものだと思うのです。簡単なことではないですが、時間をかけて何かに真剣に取り組んでいくことで「すごい何か」が身につくかもしれません。そしてやっぱり、若い人のほうが時間があります。

# 令和5年 11月行事予定

日	曜	行 事
1	水	金曜の授業 ソーシャルチャレンジ事業（会議室15:30～17:30）
2	木	語の日 校内漢字テスト⑧ 水引講習会①②限（2-4）
3	金	文化の日 進研模試・進路マップ（1・2年）
4	土	
5	日	
6	月	相互参観授業（～11/10の5日間） デイサービス実習⑤⑥限（2-4ヒューマン）
7	火	校内期引落 公開授業（～9日）
8	水	
9	木	コース選択説明会（体育館：1年普⑦限）
10	金	ウォークラリー大会（雨天中止時は、17日（金）の授業）
11	土	竹林整備の下草刈り（9:00～） 土曜課外⑤ 被服製作技能検定1級（和服）
12	日	第147回ビジネス計算実務検定試験
13	月	
14	火	ソーシャルチャレンジ事業①②③限（3-4）
15	水	第2回運転免許取得説明会 ライフデザインワークショップ（1年）③④限
16	木	校内漢字テスト⑨ 高文祭（～11/19）しげのぶ清愛園との交流会（午前中：本校）
17	金	全校集会（研修図書課） ウォークラリー大会予備日
18	土	
19	日	第3回竹林整備（9:00～）
20	月	総合健診日（小松保健センター） デイサービス実習⑤⑥限（2-4ヒューマン）
21	火	
22	水	期末考査発表 各種委員会 介護職員初任者研修⑤⑥限（3-4ヒューマン）
23	木	勤労感謝の日
24	金	第2回人権・同和教育ホームルーム活動（公開授業）
25	土	えひめ教育資料館 会館記念イベント・東予歴史トリップ
26	日	第71回ビジネス文書実務検定試験 保育技術検定1級（3-4）
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	期末考査（～12/6）

## ≪「語の日」にちなんで≫

1日の生活の始まりに「おはよう」。食事をするとき「いただきます」。地域の人に「こんにちは」。言葉一つでも、高校生の立場で、一人の若者として、身の回りの人たちに与えられるものはいろいろあるのではないのでしょうか。家族に対しても友人や地域の人に対しても、なるべく明るい気持ちにさせてあげられる、“優しく頼もしい”存在になれるように言葉の使い方にも目を向けていきたいと思います。